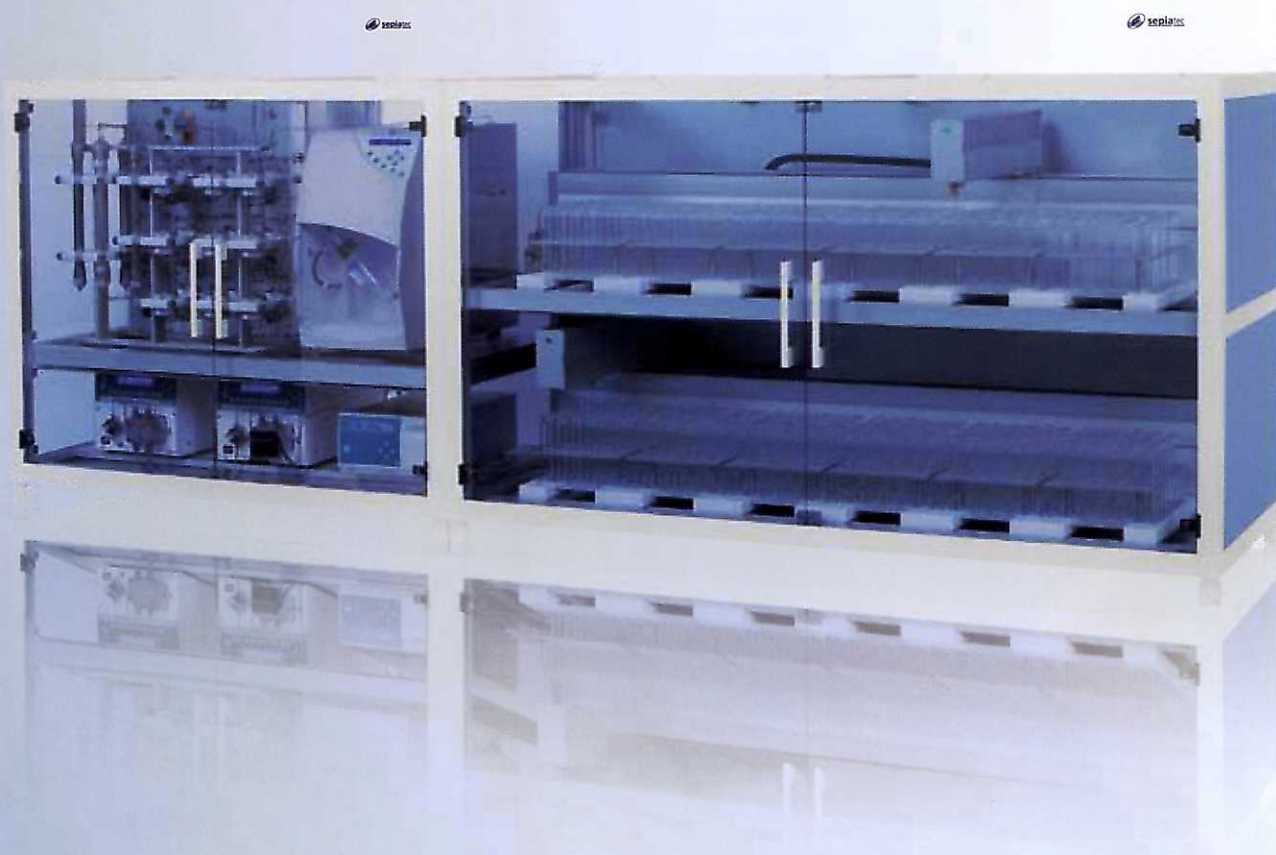




セップボックス 2D-2000 天然物サンプル抽出用全自動 HPLC および SPE コンビネーションシステム

天然物サンプルを 24 時間で自動的に分離精製します。



- 最大 2000mg の植物、海洋生物、微生物や動物由来の天然物を分離精製
- 高収率で純度の高い化合物を最大 576 分画
- 検出には UV モニターと ELSD 検出器（オプション）を使用

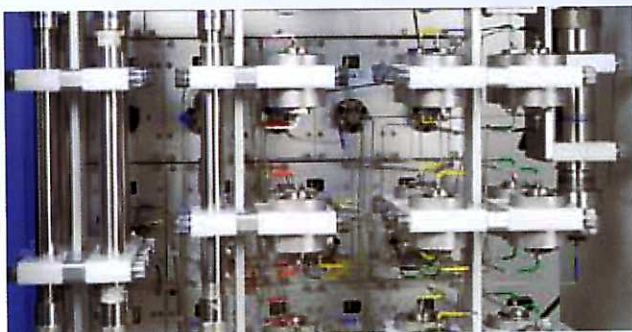
ドイツ国



sepiatec
SEPARATION INNOVATION AUTOMATION



セップボックス 2D-2000 天然物サンプル抽出用全自動 HPLC および SPE コンビネーションシステム



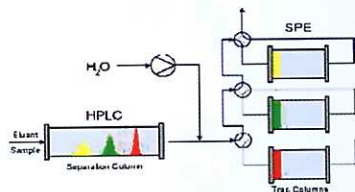
セップボックス 2D-2000 カラムラック



フラクションコレクタ

セビアテック社セップボックス 2D-2000 天然物サンプル抽出用全自動 HPLC および SPE コンビネーションシステムは、天然物サンプルの自動処理と精製工程を飛躍的にスピードアップすることを可能にしました。セップボックス 2D の製品ラインには、2D-250、2D-2000 と 2D-5000 の 3 種類のモデルがあります。

セップボックスの基本原理は、セビアテック社が特許を持つ信頼性と実績のある高速液体クロマトグラフィー (HPLC) と固相抽出 (SPE) を組み合わせた技法に基づいています。この方法は、多数の化合物を含む天然物サンプルを連続的に精製処理を行うには最適です。



HPLC と SPE の組合せ原理図

従来の HPLC 法では数週間から数カ月を必需とする天然物サンプルからの化合物の単離精製をわずか数日か、場合によっては 1 日で完了します。

セップボックス 2D-2000 は、最大 2000mg の植物、海洋生物、微生物や動物由来の天然物を分離精製を行うために設計されています。極性化合物は、ポーラーセットアップを追加する事により分離することができます。

セップボックス 2D-2000 には、UV 検出器 (標準) とほぼ全ての物質を検出することができる ELSD 検出器 (蒸発光散乱検出、オプション) の二種類の検出器があります。

高い再現性を持つ自動処理により、天然物抽出物は二次元クロマトグラフィー分離により最短時間で分離することができます。極性および非極性の化合物の回収率は通常 90 パーセントを超えています。

最大 576 分画の高純度化合物は、その後の処理に使用するハイスループットスクリーニング用バイアルに集めることができます。

植物抽出物の回収率は平均で全体の 20% が 90~99% の純度 (* ELSD 検出) があり、海洋生物抽出物では全体の 30% が 90~99% の純度があります。セップボックスは、これらの高度に精製された化合物と同様に純度レベルが 50~90% (* ELSD 検出) の化合物を多数見つける事が出来ます。

* ここで示された純度レベルは、UV 検出では異なる吸収係数のために信頼出来る純度レベルを持っていないので ELSD 検出器で 100% の方法で計算されました。

<技術仕様>

- グラジエントポンプ: 100ml ポンプヘッド、400bar、三液グラジエント
- ウォーターポンプ: 100ml ポンプヘッド、400bar
- バルブ: 電気作動バルブ、13 個
- インジェクション: 最大 2,000 mg の抽出物。①は注入カラムを使用して注入②ループを使用して注入。
- 第一分離カラム: 1 カラム、150×32mmφ
- 第二分離カラム: 6 カラム、250×16mmφ
- トラップカラム: 18 カラム、30×32mmφ
- UV 検出器: 10 mm フローセル
- ELSD 検出器: 蒸発光散乱検出 スプリッターフロー
- フラクションコレクタ: 12 ラック、48 バイアル、容量 60ml/ バイアル、最大、576 分画
- 外形寸法: 266×65×89cm (105×26×35inch) 幅 × 奥行 × 高さ
- 重量: 240 キロ (529 IBS)。ELSD 検出器を含む



輸入総販売元

桑和貿易株式会社

E-mail: office@sowa-trading.co.jp
URL: http://www.sowa-trading.co.jp

桑和貿易 検索

東京: 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1丁目7番1号(瀬木ビル)
TEL 03 (3862) 2700(代) FAX 03 (3862) 6300
大阪: 〒532-0011 大阪市淀川区西中島5丁目3番4号(新大阪高光ビル)
TEL 06 (6390) 2151(代) FAX 06 (6390) 5620